

## 北秋田市総合戦略検証会議 事業評価シート 目次

1. 北秋田市スーパープレミアム商品券事業
2. 北秋田市スーパープレミアム宿泊利用券事業
3. 秋田内陸線乗車促進事業（貸切車両料金助成）
4. 秋田内陸線乗車促進事業（団体旅行運賃助成）
5. 北秋田市総合戦略策定事業
6. 農産物販路拡大事業
7. 北秋田市観光 PR 事業
8. 北秋田市保育園等保育環境充実事業

事業名	北秋田市スーパープレミアム商品券事業	総合戦略 該当箇所
担当部課名	商工観光課商工労働係	1-③ 商業の振興
事業目的 (一覧表F列)	低迷する個人消費を喚起し、地域経済の活性化に資することを目的とする。	地方創生交付金 種別
		地域消費喚起・生活支援型

事業費 (平成27年度)	交付額	実績額	備考欄
	79,812千円	79,812千円	
KPI	指標及び目標値		実績値(一覧表H列)
	・消費喚起想定額: 391,650千円		・発行実績額: 405,000千円

事業の取組状況と課題(一覧表I列)
<p>市商工会に委託し、市内347店舗で使用可能なプレミアム付き商品券を発行した(500円×12枚セット)。市広報紙、ポスター・チラシ作製、新聞広告及びチラシ折込等全戸に周知した。子育て応援価格を設定し、事前に対象世帯へハガキを郵送し、掘り起しを行ったが、購入世帯割合は約43%にとどまった。</p>

妥当性評価	15	有効性評価	14	効率性評価	15
市が関与すべき事業か	5	事業は効果的か	4	他に効率的な手法はないか	5
市民のニーズは高いか	5	成果が期待できるか	5	コスト削減の余地はないか	5
目的・対象は妥当か	5	政策目標の実現に貢献しているか	5	受益者負担は適当か	5

※評価基準はページ下部をご参照ください

総合評価	今後の方向性	今後の取り組み方針(一覧表J列)
<p>44 / 45</p>	<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 現行のまま継続 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 統合・縮小 <input type="checkbox"/> 廃止・休止	<p>縮小して継続: 経済波及効果については、日常生活における消費が多かった反面、家電製品等高額商品の消費喚起にも繋がり、消費バランスの良い結果となった。加えて、大型店の換金額を一般店が上回り、個人商店等への波及効果があったものと推察される。また、本商品券事業を契機に、独自キャンペーン等PRを行う商店街・商店もあり、この気運を逃したくない。しかしながら、単独自治体での実施は財政的に困難であり、国等による助成があれば、継続して実施していきたい。</p>

以下は記入不要です。

総合戦略検証会議による評価	総合戦略検証会議による意見・提言等

【検証会議 評価基準】

- A かなりの効果がある
- B 相当程度の効果がある
- C あまり効果が見られない
- D 効果が乏しく改善の必要ある

【自己分析 評価基準】



事業名	北秋田市スーパープレミアム宿泊利用券事業	総合戦略 該当箇所
担当部課名	商工観光課観光振興係	1-④ 観光・レクリエーションの振興
事業目的 (一覧表F列)	宿泊旅行者の本市への旅行の動機付けと、宿泊による森吉山をはじめとする本市の周辺観光施設等への周遊や滞在を促進し、地域経済の活性化に資することを目的とする。	地方創生交付金 種別
		地域消費喚起・生活支援型

事業費 (平成27年度)	交付額	実績額	備考欄
	9,876千円	9,876千円	
KPI	指標及び目標値		実績値(一覧表H列)
	・消費喚起想定額: 18,000千円		・発行実績額: 16,800千円

事業の取組状況と課題(一覧表I列)
市観光物産協会に委託し、市内20の宿泊施設で使用可能なプレミアム付き商品券を発行した(額面6,000円を3,000円で販売)。 県広報紙、ポスター・チラシ作成、新聞広告及びチラシ折込等全戸に周知した。

妥当性評価	12	有効性評価	10	効率性評価	10
市が関与すべき事業か	4	事業は効果的か	4	他に効率的な手法はないか	4
市民のニーズは高いか	4	成果が期待できるか	3	コスト削減の余地はないか	3
目的・対象は妥当か	4	政策目標の実現に貢献しているか	3	受益者負担は適切か	3

※評価基準はページ下部をご参照ください

総合評価	今後の方向性	今後の取り組み方針(一覧表J列)
32 / 45	<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 現行のまま継続 <input checked="" type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 統合・縮小 <input type="checkbox"/> 廃止・休止	40代以上の利用率が約85%。ビジネス利用がほとんど。 県内利用率が46%。また北秋田市民が全体の24%。 市民の利用率が高かったのは発券の効果。 券の利用率は97%が宿泊に利用、その他は食事や土産の利用に使われている。

以下は記入不要です。

総合戦略検証会議による評価	総合戦略検証会議による意見・提言等

【検証会議 評価基準】

- A かなりの効果がある
- B 相当程度の効果がある
- C あまり効果が見られない
- D 効果が乏しく改善の必要ある

【自己分析 評価基準】



事業名	秋田内陸線乗車促進事業(貸切車両料金助成)	総合戦略 該当箇所
担当部課名	内陸線再生支援室	4-⑤ 公共交通の維持・確保
事業目的 (一覧表F列)	団体への運賃助成を行うことで、より多くの方に内陸線を知ってもらうとともに、地元消費の拡大と地域経済の活性化に資することを目的とする。	地方創生交付金 種別
		地域消費喚起・生活支援型

事業費 (平成27年度)	交付額	実績額	備考欄
	1,332千円	1,332千円	
KPI	指標及び目標値		実績値(一覧表H列)
	・消費喚起想定額:1,625千円		・実績額:2,695千円

事業の取組状況と課題(一覧表I列)
秋田内陸線の貸切列車を利用する団体旅行に対して運賃助成を行った。(料金の半額を助成)市広報紙、ポスター・チラシ作製等を行った。

妥当性評価	11	有効性評価	10	効率性評価	7
市が関与すべき事業か	4	事業は効果的か	3	他に効率的な手法はないか	3
市民のニーズは高いか	3	成果が期待できるか	4	コスト削減の余地はないか	2
目的・対象は妥当か	4	政策目標の実現に貢献しているか	3	受益者負担は適切か	2

※評価基準はページ下部をご参照ください

総合評価	今後の方向性	今後の取り組み方針(一覧表J列)
28 / 45	<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 現行のまま継続 <input checked="" type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 統合・縮小 <input type="checkbox"/> 廃止・休止	今回参加のグループ人数を調査した結果、10人以上の参加が最も多く、その反面1人での利用も2割近くあった。 運賃・食事・お土産と幅広く購入されている傾向があり、企画列車や地域の祭りとの連携など鉄道自体の魅力向上をより促進していけば、商品購入にも消費がついてくると考える。

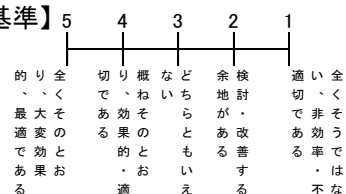
以下は記入不要です。

総合戦略検証会議による評価	総合戦略検証会議による意見・提言等

【検証会議 評価基準】

- A かなりの効果がある
- B 相当程度の効果がある
- C あまり効果が見られない
- D 効果が乏しく改善の必要ある

【自己分析 評価基準】



事業名	秋田内陸線乗車促進事業(団体旅行運賃助成)	総合戦略 該当箇所
担当部課名	内陸線再生支援室	4-⑤ 公共交通の維持・確保
事業目的 (一覧表F列)	団体への運賃助成を行うことで、より多くの方に内陸線を知ってもらうとともに、地元消費の拡大と地域経済の活性化に資することを目的とする。	地方創生交付金 種別
		地域消費喚起・生活支援型

事業費 (平成27年度)	交付額	実績額	備考欄
	13千円	13千円	
KPI	指標及び目標値		実績値(一覧表H列)
	・消費喚起想定額:1,252千円		・実績額:35千円

事業の取組状況と課題(一覧表I列)
秋田内陸線を利用する団体の内、市民に対する運賃助成を行った。(運賃の1/2、片道500円上限)市広報紙、ポスター・チラシ作製等を行った。

妥当性評価	10	有効性評価	6	効率性評価	6
市が関与すべき事業か	4	事業は効果的か	2	他に効率的な手法はないか	2
市民のニーズは高いか	2	成果が期待できるか	2	コスト削減の余地はないか	2
目的・対象は妥当か	4	政策目標の実現に貢献しているか	2	受益者負担は適切か	2

※評価基準はページ下部をご参照ください

総合評価	今後の方向性	今後の取り組み方針(一覧表J列)
22 / 45	<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 現行のまま継続 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 統合・縮小 <input type="checkbox"/> 廃止・休止	今回参加のグループ人数を調査した結果、10人以上の参加が最も多く、その反面1人での利用も2割近くあった。 運賃・食事・お土産と幅広く購入されている傾向があり、企画列車や地域の祭りとの連携など鉄道自体の魅力向上をより促進していけば、商品購入にも消費がついてくると考える。

以下は記入不要です。

総合戦略検証会議による評価	総合戦略検証会議による意見・提言等

【検証会議 評価基準】

- A かなりの効果がある
- B 相当程度の効果がある
- C あまり効果が見られない
- D 効果が乏しく改善の必要ある

【自己分析 評価基準】



事業名	北秋田市総合戦略策定事業	総合戦略 該当箇所
担当部課名	総合政策課政策係	-
事業目的 (一覧表F列)	地域の活性化と定住促進につなげる「北秋田市総合戦略」を策定するために、必要な専門的な調査等を実施する。	地方創生交付金 種別
		地方創生先行型

事業費 (平成27年度)	交付額	実績額	備考欄
	3,261千円	3,261千円	
KPI	指標及び目標値		実績値(一覧表H列)
	-		-

事業の取組状況と課題(一覧表I列)
<p>市民意識調査や各種アンケート調査、パブリックコメントなどの調査結果を踏まえ、庁内策定委員会や外部有識者等による総合戦略会議での議論・審議を経て「北秋田市人口ビジョン」及び「北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定した。</p>

妥当性評価	13	有効性評価	13	効率性評価	13
市が関与すべき事業か	5	事業は効果的か	4	他に効率的な手法はないか	4
市民のニーズは高いか	3	成果が期待できるか	4	コスト削減の余地はないか	4
目的・対象は妥当か	5	政策目標の実現に貢献しているか	5	受益者負担は適切か	5

※評価基準はページ下部をご参照ください

総合評価	今後の方向性	今後の取り組み方針(一覧表J列)
<p>39 / 45</p>	<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 現行のまま継続 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 統合・縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 廃止・休止	<p>予定通り事業終了</p>

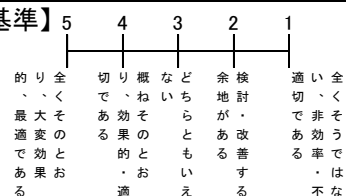
以下は記入不要です。

総合戦略検証会議による評価	総合戦略検証会議による意見・提言等

【検証会議 評価基準】

- A かなりの効果がある
- B 相当程度の効果がある
- C あまり効果が見られない
- D 効果が乏しく改善の必要ある

【自己分析 評価基準】



事業名	農産物販路拡大事業	総合戦略 該当箇所
担当部課名	農林課農業振興係	1-① 農業、畜産業の振興
事業目的 (一覧表F列)	全国的に知名度の高い比内地鶏の飼育拡大と基幹産業である農業の6次産業化の促進により、他地域と差別化を図り、若年者の新規就農につなげる。またPOSシステムの導入により、売り上げ拡大につながるデータ分析やマーケティングの効率化による競争力を強化し、販路の拡大につなげることで事業者等を支援する。	地方創生交付金 種別
		地方創生先行型

事業費 (平成27年度)	交付額	実績額	備考欄
	60,776千円	65,235千円	
KPI	指標及び目標値		実績値(一覧表H列)
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・比内地鶏出荷羽数: 98,000羽</li> <li>・JA販売額: 259,446千円</li> <li>・一等米比率: 95.8%</li> <li>・飼料用米作付面積: 450ha</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・比内地鶏出荷羽数: 82,883羽</li> <li>・JA販売額: 292,825千円</li> <li>・一等米比率: 89%</li> <li>・飼料用米作付面積: 409ha</li> </ul>

事業の取組状況と課題(一覧表I列)	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・比内地鶏素雛購入費補助</li> <li>・推奨品目販売促進事業費補助</li> <li>・青果物振興対策事業費補助</li> <li>・戦略作物地力増強推進事業費補助</li> <li>・土づくりによる食味・品質向上対策事業費補助</li> <li>・飼料用米作付拡大緊急対策事業費補助</li> <li>・POSシステム導入</li> </ul> 以上の各事業を行い農産物の販路拡大を図った。	

妥当性評価	13	有効性評価	10	効率性評価	10
市が関与すべき事業か	4	事業は効果的か	4	他に効率的な手法はないか	4
市民のニーズは高いか	4	成果が期待できるか	3	コスト削減の余地はないか	3
目的・対象は妥当か	5	政策目標の実現に貢献しているか	3	受益者負担は適切か	3

※評価基準はページ下部をご参照ください

総合評価	今後の方向性	今後の取り組み方針(一覧表J列)
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <div style="display: flex; justify-content: space-between; align-items: center;"> <span style="font-size: 24pt;">33</span> <span style="font-size: 24pt;">45</span> </div> </div>	<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 現行のまま継続 <input checked="" type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 統合・縮小 <input type="checkbox"/> 廃止・休止	事業の継続: 市の農畜産業の振興に期待できる施策である。

以下は記入不要です。

総合戦略検証会議による評価	総合戦略検証会議による意見・提言等

【検証会議 評価基準】

- A かなりの効果がある
- B 相当程度の効果がある
- C あまり効果が見られない
- D 効果が乏しく改善の必要ある

【自己分析 評価基準】



事業名	北秋田市観光PR事業	総合戦略 該当箇所
担当部課名	商工観光課観光振興係	1-④ 観光・レクリエーションの振興
事業目的 (一覧表F列)	一大ブームを巻き起こしたバター餅のように、眠れる資源の掘り起こしと魅力ある観光資源の効果的なPR、ローカルブランディングにより産業の活性化と交流人口の増加につなげるとともに、観光施設へのWi-Fi設置により外国人観光客の誘致につなげることで事業者等を支援する。	地方創生交付金 種別
		地方創生先行型

事業費 (平成27年度)	交付額	実績額	備考欄
	1,028千円	1,443千円	
KPI	指標及び目標値		実績値(一覧表H列)
	・観光入込客数:1,547千人		・観光入込客数:1,280千人

事業の取組状況と課題(一覧表I列)
<ul style="list-style-type: none"> <li>・北秋田市観光物産協会による首都圏等での観光PRイベント開催補助。</li> <li>・観光施設(マタギの湯)へのWi-Fi導入。</li> </ul> 以上の事業を行った。

妥当性評価	11	有効性評価	10	効率性評価	9
市が関与すべき事業か	3	事業は効果的か	3	他に効率的な手法はないか	3
市民のニーズは高いか	4	成果が期待できるか	4	コスト削減の余地はないか	3
目的・対象は妥当か	4	政策目標の実現に貢献しているか	3	受益者負担は適切か	3

※評価基準はページ下部をご参照ください

総合評価	今後の方向性	今後の取り組み方針(一覧表J列)
30 / 45	<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 現行のまま継続 <input checked="" type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 統合・縮小 <input type="checkbox"/> 廃止・休止	事業内容の見直し(改善):入れ込み客数は指標値には達していないが、前年実績地を上回っており、効果が出ていると思われる。 Wi-Fi導入は、設置以降の維持費について検討を加える必要がある。

以下は記入不要です。

総合戦略検証会議による評価	総合戦略検証会議による意見・提言等

【検証会議 評価基準】

- A かなりの効果がある
- B 相当程度の効果がある
- C あまり効果が見られない
- D 効果が乏しく改善の必要ある

【自己分析 評価基準】





事業名	北秋田市保育園等保育環境充実事業	総合戦略 該当箇所
担当部課名	福祉課こども福祉係	3-① 安心して結婚・出産・子育てできる環境の充実
事業目的 (一覧表F列)	様々な子育てニーズに対応するため、保育環境の改善に資する備品を整備することで、子育て支援の充実を図る。	地方創生交付金 種別
		地方創生先行型上乘せ分

事業費 (平成27年度)	交付額	実績額	備考欄
	10,000千円	10,419千円	
KPI	指標及び目標値		実績値(一覧表H列)
	・子育てしやすいまちだと答えた市民の割合:41.5%		・子育てしやすいまちだと答えた市民の割合:67.8%

事業の取組状況と課題(一覧表I列)	
<p>市内の保育所等に対し、加湿空気清浄機や看護用ベッドなどの備品を購入し、さらなる保育環境の充実を図った。</p>	

妥当性評価	15	有効性評価	13	効率性評価	14
市が関与すべき事業か	5	事業は効果的か	4	他に効率的な手法はないか	5
市民のニーズは高いか	5	成果が期待できるか	4	コスト削減の余地はないか	5
目的・対象は妥当か	5	政策目標の実現に貢献しているか	5	受益者負担は適切か	4

※評価基準はページ下部をご参照ください

総合評価	今後の方向性	今後の取り組み方針(一覧表J列)
42 / 45	<input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現行のまま継続 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 統合・縮小 <input type="checkbox"/> 廃止・休止	<p>免疫力、体力共にまだまだ十分ではない乳幼児の様々な感染症予防の徹底を図る効果がある。</p>

以下は記入不要です。

総合戦略検証会議による評価	総合戦略検証会議による意見・提言等

【検証会議 評価基準】

- A かなりの効果がある
- B 相当程度の効果がある
- C あまり効果が見られない
- D 効果が乏しく改善の必要ある

【自己分析 評価基準】

